

第 6 回 未来を拓く新たな茨城づくり
調査特別委員会資料

5 新しい夢・希望

(2) 県産品の輸出促進

(営業戦略部、産業戦略部)

令和 7 年 8 月 2 7 日 (水)

＜総合計画における関連する指標＞

政策 17 世界に飛躍する茨城へ

施策 1 世界に広がる I B A R A K I ブランド

No	指標名	単位	現状値（注）	R 6 (2024) 実績			目標値
			R 2 (2020)		達成率	評価	R 7 (2025)
77	農林水産物及び 工業製品等の輸出額	億円	103	283	94%	B	327

注 計画策定時における直近の実績値

1 現状と課題

（１）農林水産物及び工業製品等の輸出状況

県ではこれまで、かんしょをはじめとした青果物やコメ、常陸牛、加工食品などの輸出拡大に戦略的に取り組んできた。

その結果、本県農産物（青果物、コメ、畜産物）の令和 6（2024）年度輸出実績は、前年度（令和 5（2023）年度）に比べて約 81%増の 31 億 7,700 万円となり、過去最高額を更新した。

加工食品の令和 6（2024）年度輸出実績については、前年度に比べて約 68%増の 41 億 6,500 万円となり、同じく過去最高額を更新した。

水産物の令和 6（2024）年輸出実績については、前年とほぼ同額の 44 億 6,900 万円となった。

工業製品の令和 6（2024）年度輸出実績については、前年度に比べて約 4 %増の 164 億 9,400 万円となった。

令和 6（2024）年度の農林水産物及び工業製品等の輸出合計額は、前年度に比べて約 15%増の 283 億 500 万円となった。

（参考 1）農林水産物及び工業製品等の輸出実績（単位：百万円）

品目	R 3 年度 (2021)	R 4 年度 (2022)	R 5 年度 (2023)	R 6 年度 (2024)	増加率 (R 6 / R 5)
農産物	975	1,316	1,753	3,177	181%
青果物	430	506	578	982	170%
コメ	361	389	710	979	138%
畜産物	184	421	465	1,216	262%
加工食品	1,632	1,679	2,482	4,165	168%
水産物	6,888	5,690	4,440	4,469	101%
工業製品	9,008	16,938	15,854	16,494	104%
合計額 (全品目)	18,503	25,623	24,529	28,305	115%

注 1 県事業等を通じて関与及び支援した事業者などへの聞き取り調査結果（県調べ）

注 2 水産物は年度ではなく年（暦年）で集計

(参考2) 令和6(2024)年度輸出額の主な増加要因(品目別)

品目		主な要因
農産物	青果物	かんしょのアジア向け輸出が堅調に増加
	コメ	カナダ及び欧州での販路が拡大し、輸出が増加
	畜産物	アジア・アメリカ向け牛肉と香港向け鶏卵の輸出が増加
加工食品		菓子及び調味料の輸出が堅調に増加
水産物		冷凍魚の輸出額はわずかに減少したが、缶詰の輸出が増加
工業製品		自動車部品や半導体関連製品の輸出が増加

(2) 人口減少による影響等

急激な人口減少などにより国内市場の規模が縮小する中、本県が持続的に発展していくためには、海外市場の獲得が重要である。一方で、他の自治体においても、国内経済の先行きを見据えてグローバル市場への参入を進めており競争は激化している状況である。

また、県ではこれまでも事業者と綿密に協議しながら、輸出先の多角化を進めてきたが、米国関税政策の影響等も踏まえ、今後とも新規市場の開拓が必要となっている。

このため、本県の農産物や加工食品等の輸出を継続的に拡大させていくためには、海外市場のニーズをしっかりと把握した戦略的な営業展開が必要となっている。

2 施策の方向性

(1) 農林水産物及び加工食品の輸出促進に向けた取組

① 新規市場開拓に係る支援

本県の農産物輸出を牽引するかんしょ及びコメ等の輸出を更に拡大するとともに、その他の品目についても競争が少ない新しい市場(ブルーオーシャン市場)での新たな商流構築に向け、新市場・新規国において、試験輸送やテスト販売等の支援を行っていく。

② バイヤー招へいによる商談機会の提供

県産品に対する購買意欲のあるバイヤーを県に招へいし、県内産地・事業者との直接の面談や商品の試食、施設の見学等を行うことで、県産品や県内産地・事業者に対するバイヤーの理解を促進するとともに、継続してフォローアップを行うことで商談の成約に取り組んでいく。

③ 現地専門家による営業活動

販路開拓ノウハウとネットワークを有する現地専門家を世界 6 地域に配置し、県内産地・事業者に対し、現地ニーズに基づく商品改良や品目選定などをアドバイスするとともに、スピード感のある営業活動を実施することにより市場の開拓に取り組んでいく。

【専門家配置地域】

アメリカ東海岸・西海岸、シンガポール、タイ、欧州（フランス）、中東（UAE）

④ 現地プロモーションの実施

輸出に意欲的な県内産地・事業者と輸出事業者が連携して実施する現地販売店等における試食販売や、展示会への出展などを支援していく。

特に常陸牛については、現地飲食店での試食イベントの開催や、技術者を派遣した牛肉のカッティングトレーニングによる多様な用途での需要拡大等に取り組んでいく。

⑤ 大規模輸出企業創出に向けた支援

年間輸出額 1 億円以上の事業者を創出するため、輸出拡大に強い意欲を持つ事業者に対して、事業者がターゲットとする国や地域、目標額、拡大戦略といった輸出計画をもとに、海外ニーズを踏まえた商品改良のほか、販売促進などの営業活動や外部営業人材の活用などを最大 3 年間支援していく。なお、助成事業者については、事業進捗状況を踏まえ、毎年審査のうえ決定する。

令和 7 (2025) 年度は、新規・継続を含めて 10 社に経費の助成を行う。

（参考 3）事業の概要

- ・ 採択件数：10 社（令和 7 (2025) 年度）
- ・ 助成内容

	助成対象	助成額
①	商品改良・開発、営業活動に伴う経費	助成率：1／2 上 限：200 万円
②	支援コーディネーター配置に伴う経費	助成率：10／10 【事業採択 1 年目】 上限：500 万円 【事業採択 2 年目以降】 上限：300 万円

注 ①と②は重複申請可能（助成額は最大 700 万円）

⑥ 海外展示会等に係る出展支援

輸出に意欲的に取り組む県内産地・事業者に対し、海外バイヤーが参加する国内外の展示商談会への出展を支援することで、販路の拡大に取り組んでいく。

(参考4) 令和7(2025)年度に出展を支援する展示会(予定含む)

展示会	“日本の食品” 輸出 EXPO	ANUGA2025	Gulfood 2026	Seafood Expo North America 2026	Foodex Japan 2026
開催地	東京	ケルン	ドバイ	ボストン	東京
期間	令和7(2025)年 7月9日～11日	令和7(2025)年 10月4日～8日	令和8(2026)年 1月26日～30日	令和8(2026)年 3月15日～17日	令和8(2026)年 3月10日～13日
概要	食品の輸出に 特化した展示会	欧州最大級の 食品総合見本市	世界最大規模の 食品展示会	水産物に特化 した食品展示会	食品の輸出に 特化した展示会
支援 企業数	10社	4社	4社程度	4社程度	12社程度

⑦ 農林水産物の大規模輸出産地構築に向けた支援

輸出産地・事業者や県、J A、輸出商社等の輸出に関わる地域の関係事業者が一体となって、海外の規制や大ロット・周年出荷等のニーズに対応した生産・流通体系への転換を図る取組を推進し、大規模な輸出産地を育成する。

(参考5) 令和7(2025)年度いばらきG F P (※1) グローバル産地づくり推進事業
概要

補助対象	・ 地域の関係者による輸出推進体制の組織化 ・ 生産・流通体系の転換を通じた大規模輸出産地のモデル構築
補助額	上限5,000万円(補助率:定額、財源:国10/10)
R6(2024) 年度の 活用状況	コメの輸出拡大に取り組む県内企業1社が、生産者や流通業者、県等と協議会を設立し事業を活用した。

※1 G F P : Global Farmers/Fishermen/Foresters/Food Manufacturers Project の略称であり、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクト
輸出に取り組む生産者等向けに情報発信、産地形成支援、マッチング等を実施

⑧ 輸出向けH A C C P (※2) 等の対応支援

加工食品等の輸出拡大に取り組む事業者に対し、輸出先国の規制・条件への対応や、輸出向け認証取得への対応に必要な施設や機器の整備及び認証取得のためのコンサルティング等に要する経費を支援していく。

※2 H A C C P : 食品等事業者が食品の安全性を確保するための衛生管理手法

(参考6) 過去3か年の活用概要(補助率:1/2、財源:国10/10) (千円)

完了年度	事業者	補助額	品目	内容
R6 (2024)	A	109,791	菓子類	FSSC22000(※3)対応施設整備
	B	40,499	水産加工品	FSSC22000対応機械整備
R5 (2023)	C	500,000	畜産品	JFS-C(※4)対応施設整備
	D	173,430	酒類	FSSC22000対応施設整備
	E	500,000	水産加工品	E U等向け製造施設認定対応施設整備
R4 (2022)	F	12,760	菓子類	FSSC22000対応施設整備
	G	71,873	水産加工品	米国水産H A C C P対応施設整備

※3 FSSC22000 : FSSC22000財団(オランダ)が運営する国際水準のH A C C P規格

※4 JFS-C : 一般財団法人食品安全マネジメント協会が運営する国際水準のH A C C P規格

⑨ 輸出証明書の発行等

農林水産物及び加工食品の輸出拡大に取り組む事業者に対し、「農林水産物及び食品の輸出促進に関する法律」に基づき、輸出証明書の発行や輸出先国が定める基準に適合する施設の認定を行うことにより輸出拡大を支援していく。

なお、輸出事業者の負担を減らすため、手数料は徴収していない。

(参考 7) 輸出証明書等の発行状況

	R 4 年度 (2022)	R 5 年度 (2023)	R 6 年度 (2024)
タイ王国向け青果物の選別・梱包 施設の証明書 ^注	新規 5 件 更新 7 件	新規 5 件 更新 0 件	新規 8 件 更新 9 件
台湾向け食品等の輸出に関する 産地証明書	15 件	32 件	38 件

注 証明書の有効期間は、証明書発行日から 3 年で認定の更新が必要

(2) 工業製品の輸出促進に向けた取組

① ものづくり企業の海外展開促進

令和 6 (2024) 年度から、工業製品の輸出促進を図るため、県内の「ものづくり中小企業」に対して、国際展示会への共同出展支援や専門家による伴走支援を開始しており、引き続き、海外での販路開拓を支援していく。

(参考 8) 令和 7 (2025) 年度に出展を予定する展示会概要

出展国	ドイツ	タイ	アメリカ
展示会	productronica 2025	METALEX 2025	MD & M West 2026
開催地	ミュンヘン	バンコク	アナハイム
期間	令和 7 (2025) 年 11 月 18 日～21 日	令和 7 (2025) 年 11 月 19 日～22 日	令和 8 (2026) 年 2 月 3 日～5 日
概要	主に製造技術、 生産設備関連	主に工作機械、 金属加工関連	主に 医療機器関連
出展企業数	8 社	10 社	5 社

② 海外展開への助成

県内中小企業の新たな市場獲得に向けた販路開拓を促進するため、個々の企業の製品に応じた国・専門展示会への出展や、外国語ウェブサイトの制作、国際認証の取得を支援していく。

(参考9) いばらきチャレンジ基金事業の概要

事業名	対象	助成率
海外販路開拓促進事業	海外販路開拓を目的とした 展示会等への出展	2 / 3 以内 (助成限度額 150 万円)
外国語ウェブサイト 制作事業	海外販路開拓を目的とした 外国語ウェブサイトの制作	2 / 3 以内 (助成限度額 100 万円)
国際認証取得事業	海外販路開拓を目的とした 国際認証の取得	2 / 3 以内 (助成限度額 250 万円)

注 工業製品に限らず加工食品等についても支援している

3 今後の対応・改善の方向

農林水産物については、かんしょ、コメ、常陸牛を主力3品目に位置付け、戦略的な営業活動を展開する。かんしょについては、商流の開拓が進む台湾やマレーシア、カナダ等への販路拡大を図る。また、コメについては、高価格帯での購買力のある北米・欧州市場での販路の確立・定着を目指す。さらに、常陸牛については、タイ、台湾等でのプロモーションと、米国、欧州における大ロットの流通網を持つ大手食肉事業者との連携強化に取り組み、更なる販路拡大を目指す。

加工食品については、海外ニーズを的確に把握し、ニーズを踏まえた商品改良・開発等を支援するとともに、世界6地域に配置した専門家を活用するなどし、更なる輸出の拡大を図る。

工業製品については、国際展示会への共同出展支援や個々の企業の製品に応じた国・専門展示会への出展支援を行うとともに、専門家による伴走支援など販路開拓に向けた各種サポートを実施することで、県内企業の海外展開を後押しする。